

食よく、バランスよく。

「新・日本型食生活」をめざして



2018年3月期

決算説明会資料

(2017年4月1日～2018年3月31日)

2018年5月30日

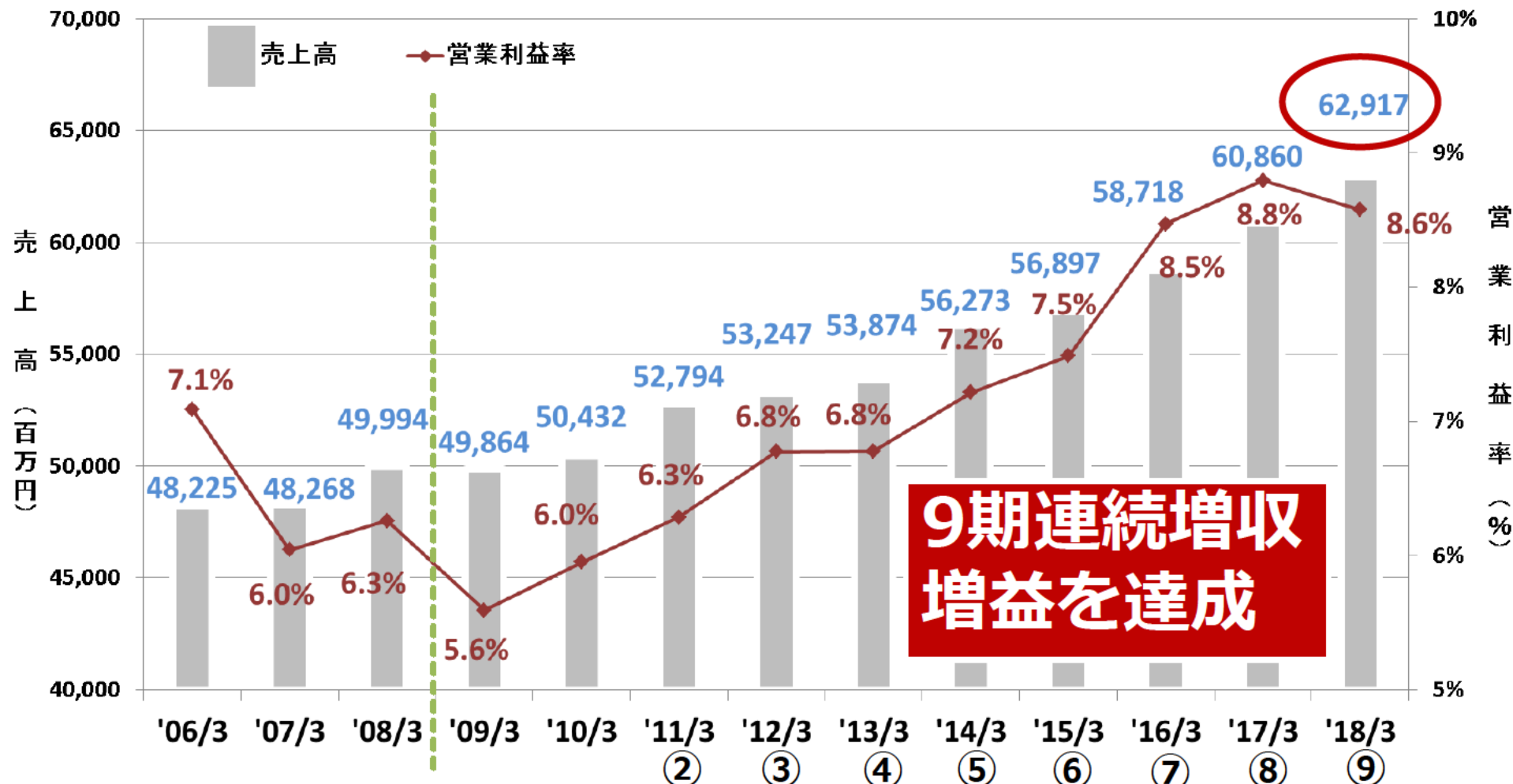


フジッコ株式会社 (2908)

<https://www.fujicco.co.jp/>

2017年度決算の概要

売上高・営業利益トレンド



	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3
売上高	48,225	48,268	49,994	49,864	50,432	52,794	53,247	53,874	56,273	56,897	58,718	60,860	62,917
[前期比]	102.2%	100.1%	103.6%	99.7%	101.1%	104.7%	100.9%	101.2%	104.5%	101.1%	103.2%	103.6%	103.4%
営業利益	3,418	2,917	3,130	2,788	3,001	3,319	3,607	3,651	4,061	4,261	4,973	5,352	5,396
[前期比]	81.7%	85.3%	107.3%	89.1%	107.6%	110.6%	108.7%	101.2%	111.2%	104.9%	116.7%	107.6%	100.8%
営業利益率	7.1%	6.0%	6.3%	5.6%	6.0%	6.3%	6.8%	6.8%	7.2%	7.5%	8.5%	8.8%	8.6%

連結損益計算書（前期比）



	2017/3期		2018/3期		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	60,860	100.0	62,917	100.0	2,057
売上原価	35,368	58.1	36,927	58.7	1,559
売上総利益	25,491	41.9	25,989	41.3	497
販売費及び一般管理費	20,139	33.1	20,592	32.7	452
営業利益	5,352	8.8	5,396	8.6	44
営業外損益	351	0.6	331	0.5	△20
経常利益	5,703	9.4	5,728	9.1	24
特別損益	△186	△0.3	△214	△0.3	△27
税引前利益	5,516	9.1	5,513	8.8	△3
当期純利益	3,791	6.2	4,023	6.4	231
1株当り純利益 [潜在株式調整後]	126円92銭 [126円82銭]		134円57銭 [134円42銭]		7円65銭 [7円60銭]

※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益になります。

売上高は増収、過去最高を更新 営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益を更新 9期連続で増収営業増益を達成！

- ◎ 売上高は2,057百万円の増収
- ◎ 売上原価率は58.7%、前期より0.6ポイントの悪化
- ◎ 販売管理費率は32.7%、前期より0.4ポイントの改善
- ◎ その結果、営業利益は44百万円のギリギリ増益、
営業利益率は8.6%と前期より0.2ポイントの悪化
- ◎ 経常利益は24百万円のギリギリ増益
- ◎ 当期純利益は231百万円の増益
法人税等が減少したため
 - ・ 優遇税制「所得拡大促進税制」
 - ・ 税効果会計「税効果分類」の変更
- ◎ 1株当たり当期純利益は134円57銭、前期より7円65銭の増加
潜在株式調整後1株当たり当期純利益は134円42銭

四半期会計期間の売上・営業利益の増減推移（前期比）



(単位：百万円)		売上	営業利益	営業利益率
第1 Q (4 - 6月)	前第1 Q	14,586	1,059	7.3%
	実績	15,227	1,124	7.4%
	増減	+640	+65	-
	前同四半期比	104.4%	106.2%	-
第2 Q (7 - 9月)	前第2 Q	14,689	1,353	9.2%
	実績	15,220	1,177	7.7%
	増減	+531	△176	-
	前同四半期比	103.6%	87.0%	-
第3 Q (10 - 12月)	前第3 Q	17,573	2,152	12.2%
	実績	17,896	2,094	11.7%
	増減	+323	△57	-
	前同四半期比	101.8%	97.3%	-
第4 Q (1 - 3月)	前第4 Q	14,010	786	5.6%
	実績	14,572	1,000	6.9%
	増減	+561	+213	-
	前同四半期比	104.0%	127.2%	-



(百万円)	前期実績	構成比 %	当期実績	構成比 %	前期差	前期比 %
惣菜製品	18,920	31.1	20,064	31.9	1,144	106.0
昆布製品	17,516	28.8	17,619	28.0	103	100.6
豆製品	13,702	22.5	14,063	22.3	361	102.6
ヨーグルト製品	6,216	10.2	6,391	10.2	175	102.8
デザート製品	3,177	5.2	3,359	5.3	182	105.8
その他製品	1,328	2.2	1,418	2.3	89	106.7
合計	60,860	100.0	62,917	100.0	2,057	<u>103.4</u>

売上高の増減要因分析（前期比）



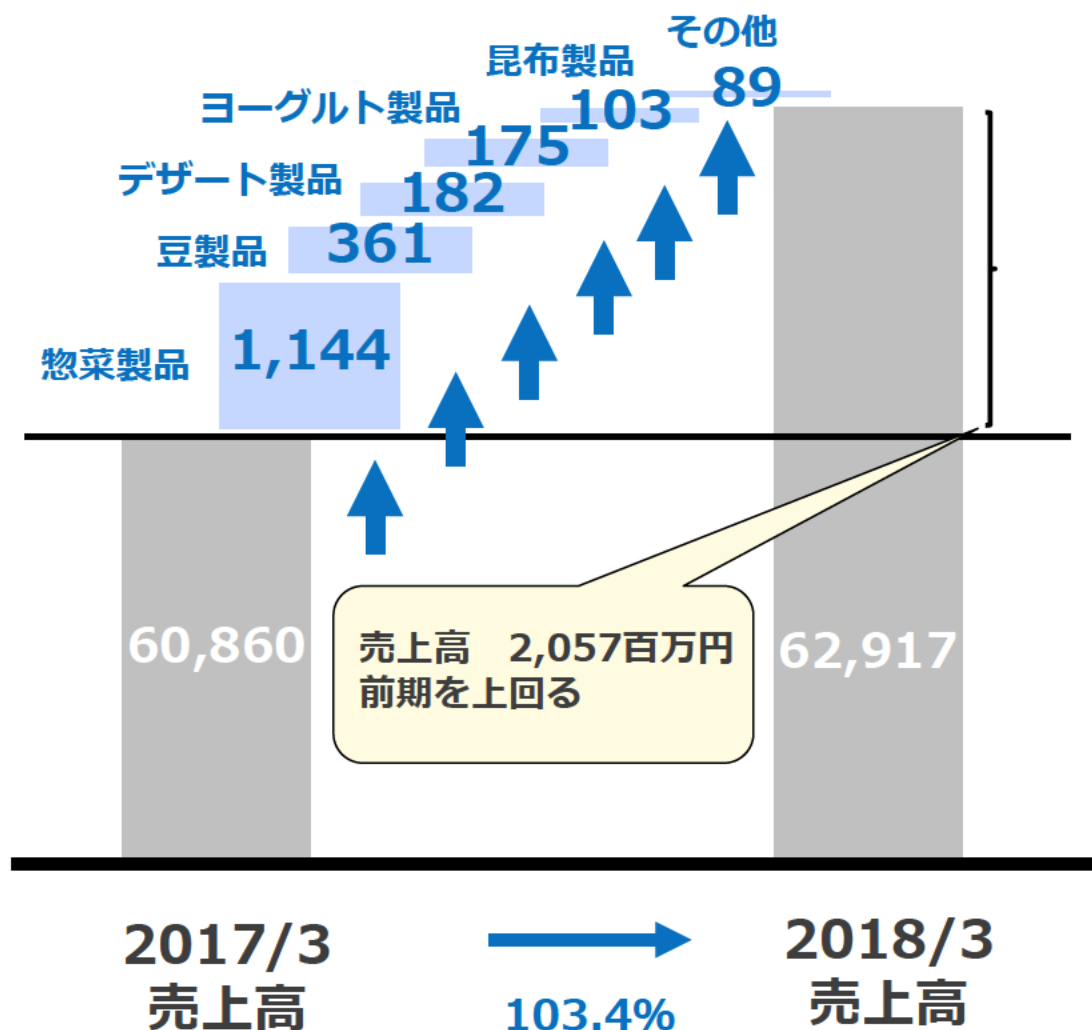
単位：百万円

【総括】

すべての製品分類で伸長

惣菜製品では包装惣菜、日配惣菜とも伸長
豆製品では蒸し豆、「豆小鉢」がけん引

売上高は前期より2,057百万円上回った



営業利益の増減要因分析（前期比）



単位：百万円

【総括】

売上原価率は前期より上昇したが、販管費比率を抑えたことにより、営業利益はギリギリ増益となった。

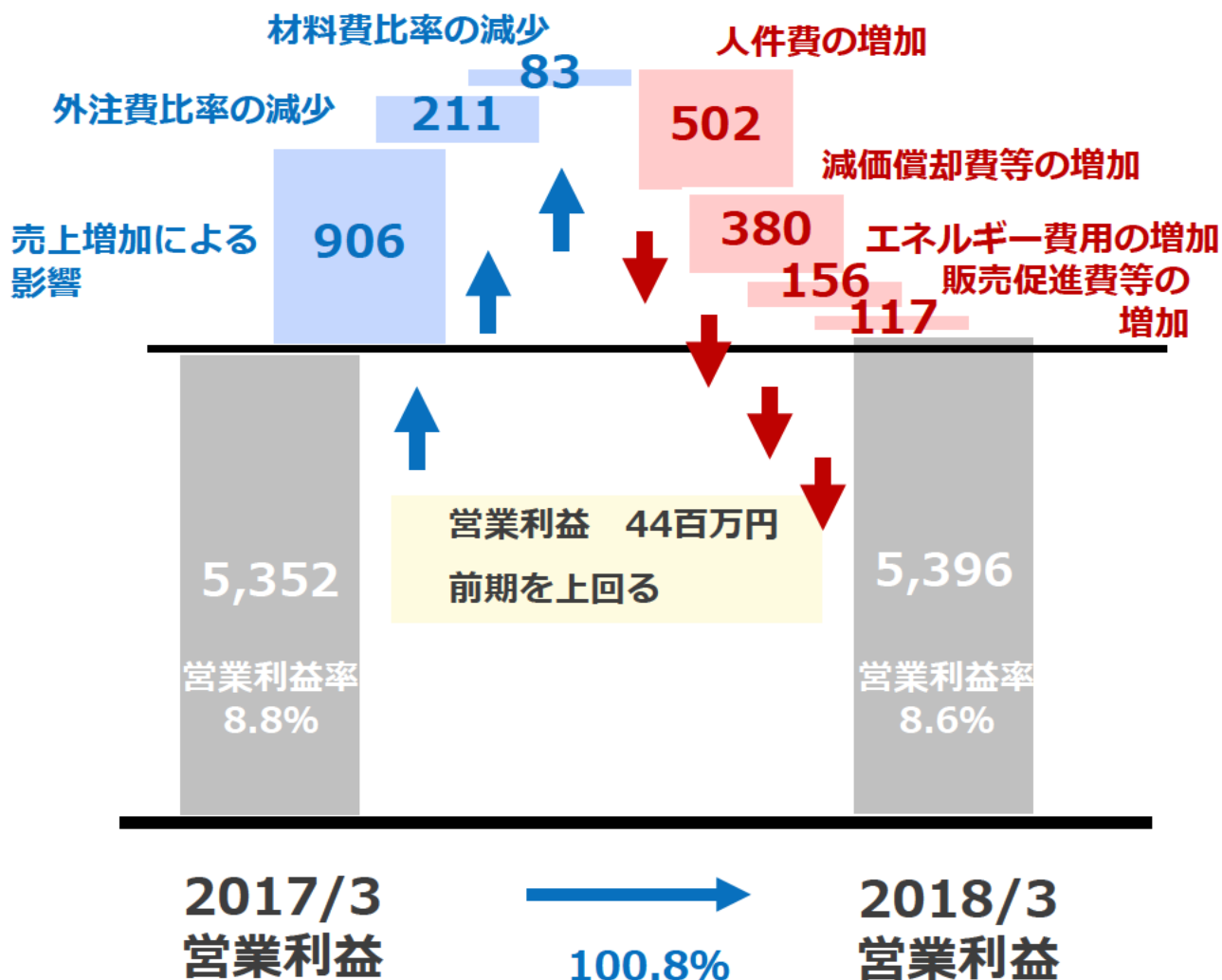
売上高の増加に加え、外注費比率、材料費比率の減少により、人件費、減価償却費、エネルギー費用等の増加を補うことができた。

【増加要因に対するコメント】

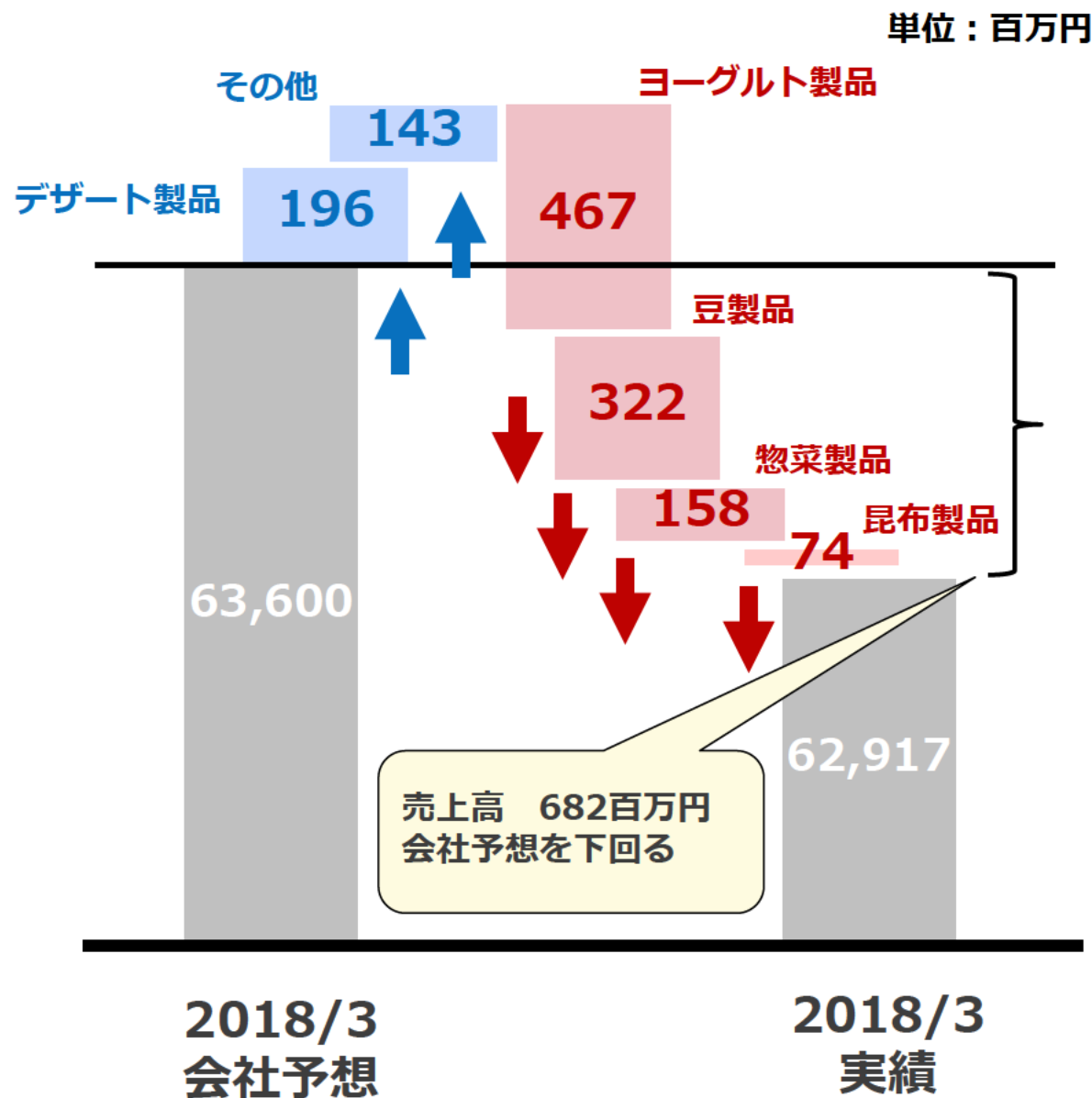
- ・売上高は、すべての製品分類が伸長

【減少要因に対するコメント】

- ・人件費の増加
- ・減価償却費等の増加
- ・エネルギー費用の増加



売上高の増減要因分析（会社予想との比較）



【総括】

デザート製品のみ会社予想を上回った

ヨーグルト製品、惣菜製品は期待には届かなかった

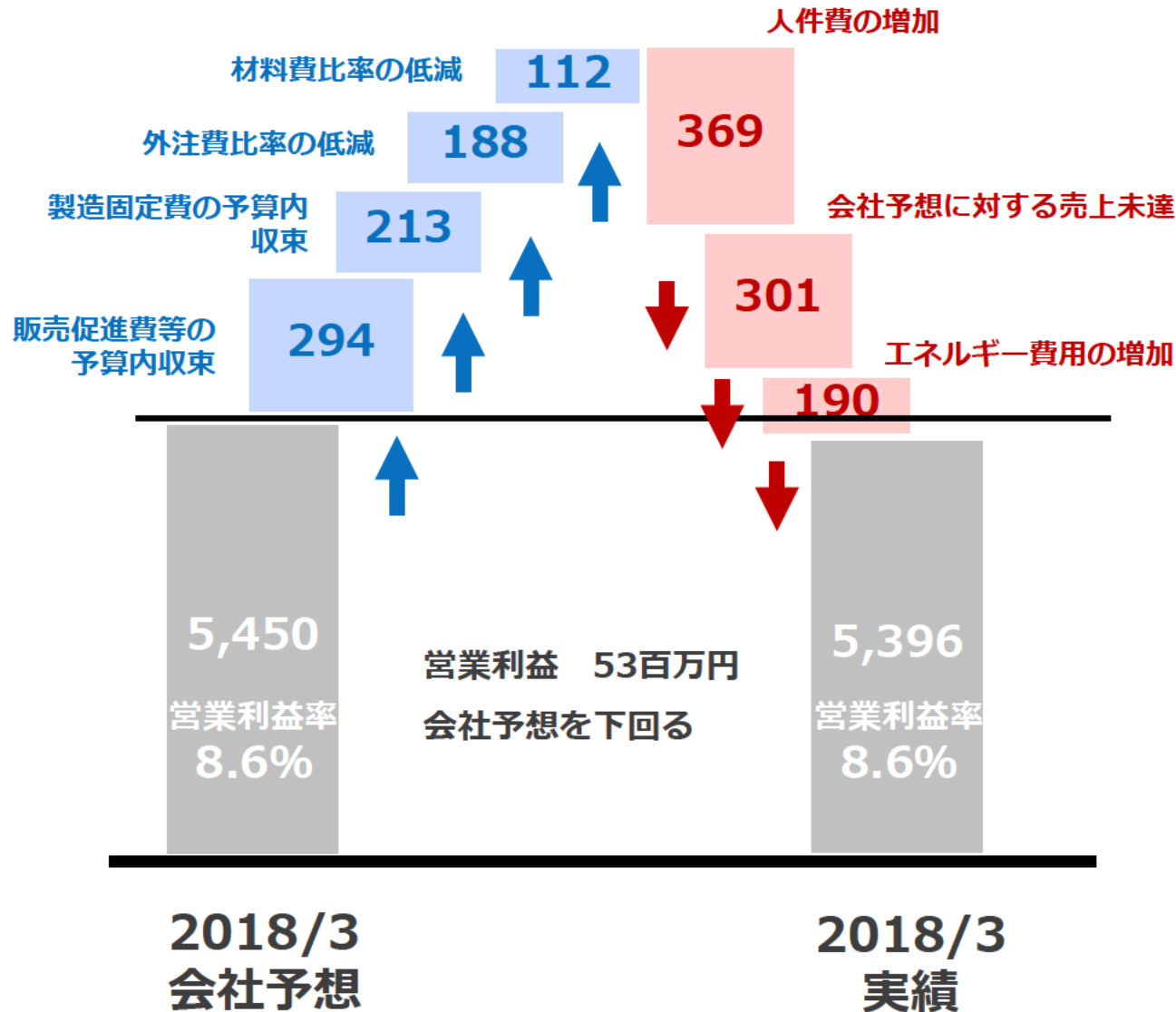
コア事業の豆製品、昆布製品は会社予想を下回った

売上高は会社予想より682百万円下回った

営業利益の増減要因分析（会社予想との比較）



単位：百万円



【総括】

売上高は会社予想に届かず、人件費、エネルギー費用等の増加が大きく、営業利益は会社予想を下回る結果となった。営業利益率は会社予想どおり。

【増加要因に対するコメント】

- ・ 全社経費削減活動の推進
- ・ 材料費比率の低減

【減少要因に対するコメント】

- ・ 会社予想に対する売上高未達成
- ・ 人件費の増加
- ・ エネルギー費用の増加



よかった点

- ◎ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高を更新
- ◎ 9期連続で増収増益を達成（営業利益ベース）
- ◎ すべての製品分類で伸長
- ◎ 包装惣菜（おばんざい小鉢）の躍進
- ◎ コストダウン活動の取り組み

悪かった点

- ◎ 売上原価率が前期より悪化
- ◎ 塩こんぶ、ヨーグルトは期待には届かず

2018年度業績の見通し



社 是

創造-路

Always Be Creative

～仕事を創造し 商品を創造し 人生を創造する～



私たちの目指す姿

自然の恵みに感謝し

美味しさを革新しつづけ

全ての人々を元気で幸せにする

健康創造企業を目指します

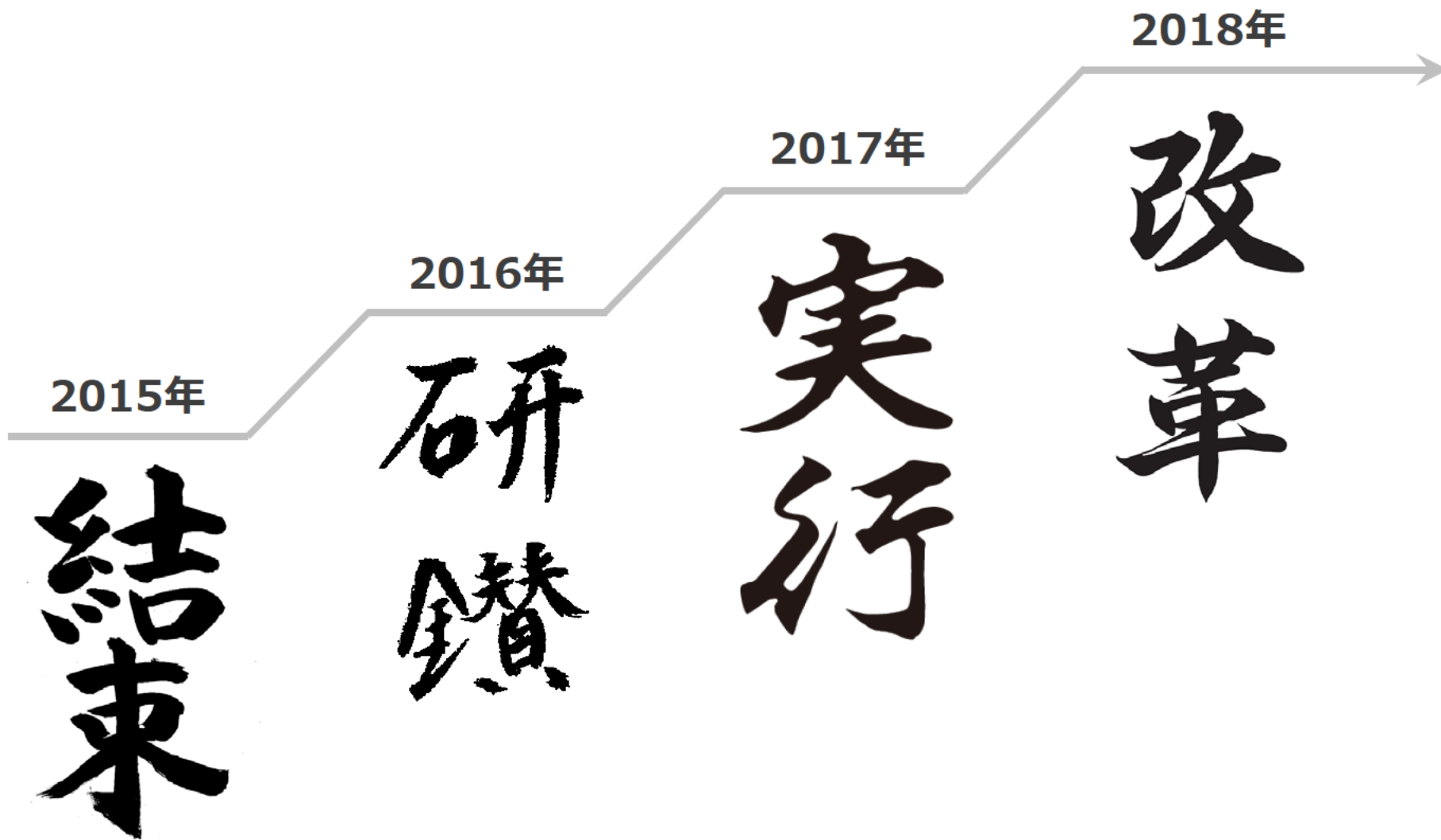


5つの行動指針

会社の持続的な発展とすこやかな社会の実現のために私たちは変わります!

- 情熱** 熱くなれ!
情熱は 周囲を巻き込み 意識と行動を引き出す
- 変革** 変化を歓迎せよ!
知識と感性を磨き 時代の一步先を行け
- 挑戦** 失敗を恐れず 挑戦せよ!
挑戦は 新たな価値を創造する
- 結束** 志を一つにせよ!
決まったことは 実行あるのみ
- 尊重** 謙虚に耳を傾けよ!
互いを尊重する姿勢は 新しい気づきを生む

フジッコグループの従業者は この行動指針に基づき
誠実かつ真摯な姿勢で業務に取り組みます



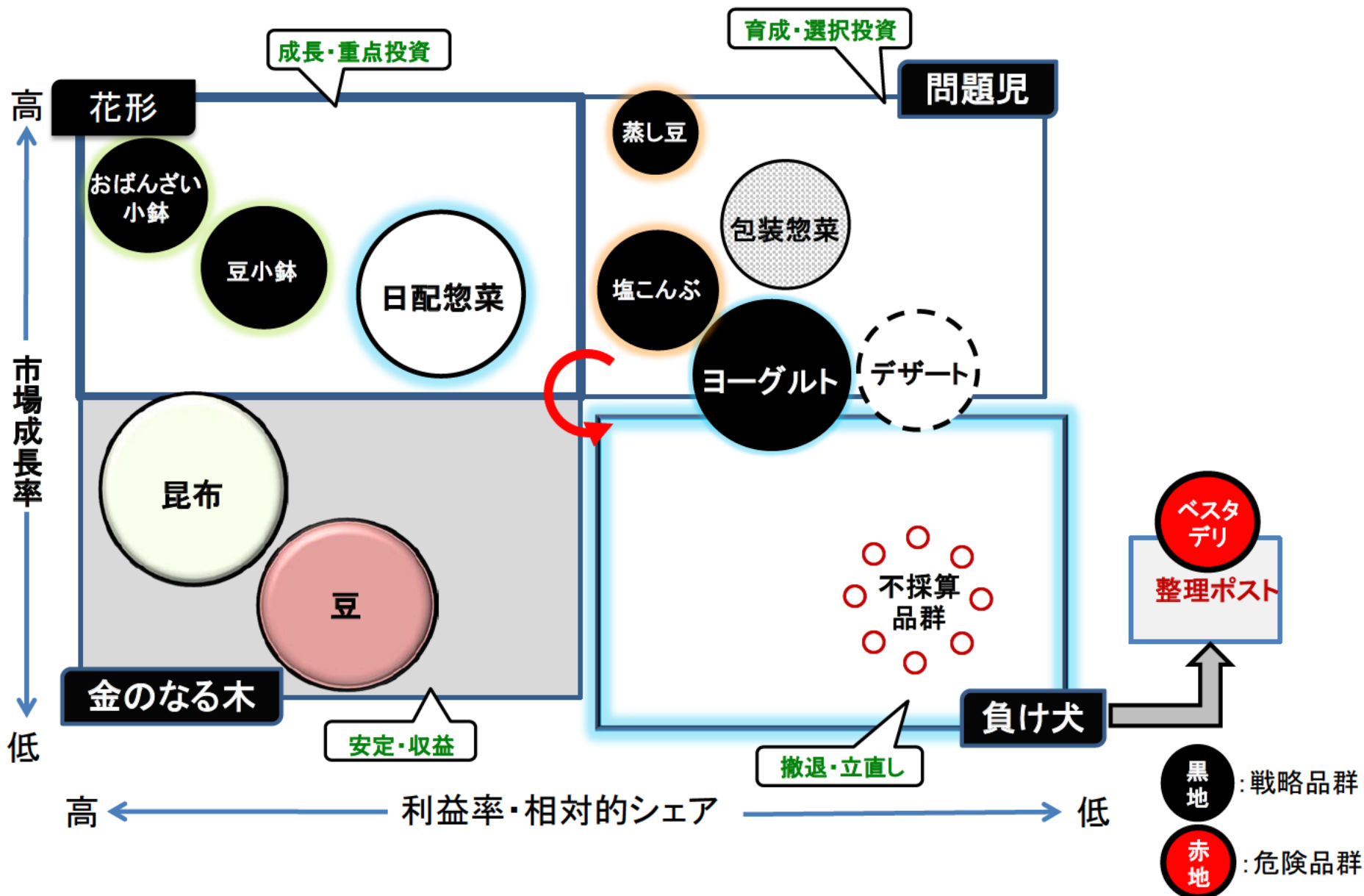


新企業理念のもと

意識と行動を改革し

持続的成長を実現しよう





全国エリアで販売拡大





小鉢シリーズの拡充

赤枠内はテスト販売対象商品

佃煮



惣菜



煮豆





ぴったりフィットカップ

～ 「お客様の生の声」 を生かした容器改善 ～





機能性表示食品「善玉菌のチカラ」

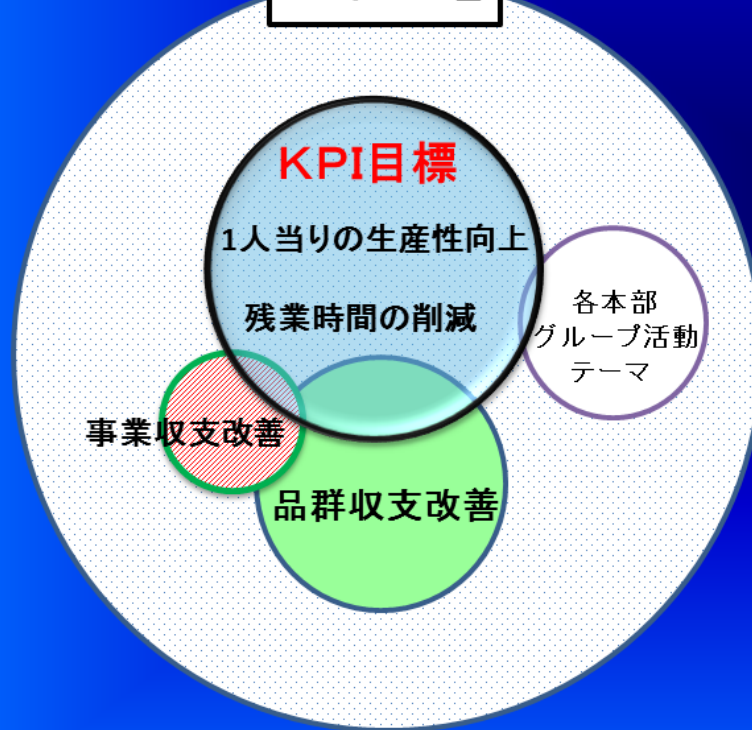


目標

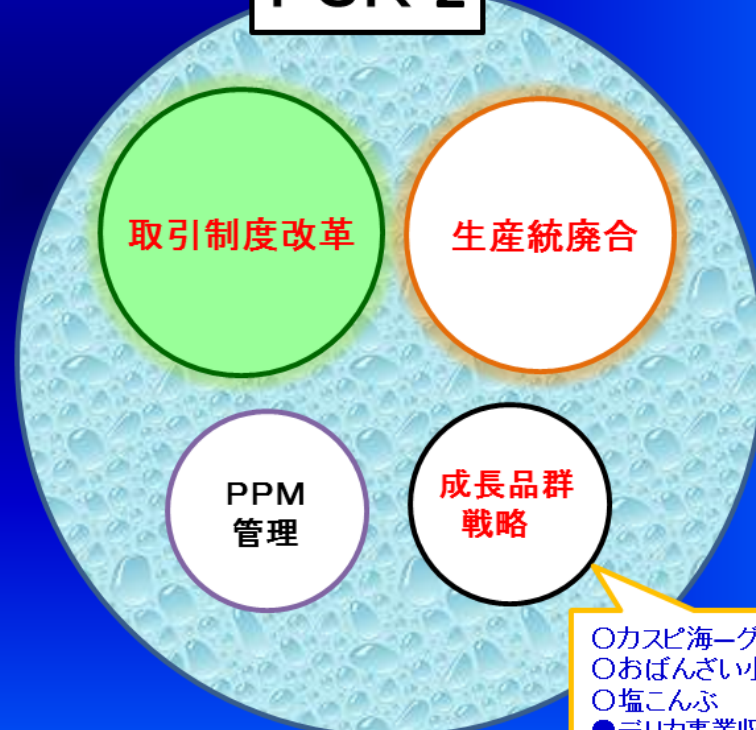
合計 10億円 のコストダウン目標
 営業利益率 8.6% → 8.8% (昨対+3.8億円)

FCR59運動

FCR-1 Cost Reduction



FCR-2 Creative Revolution



- カスピ海ーグルト
- おばんざい小鉢
- 塩こんぶ
- デリカ事業収支改善
- 通販事業立て直し

連結製品分類別売上高



(単位：百万円)	2018/3 実績	構成比 %	2019/3 予想	構成比 %	前期差	設定率
惣菜製品	20,064	31.9	21,235	32.3	1,170	105.8%
昆布製品	17,619	28.0	18,373	27.9	753	104.3%
豆製品	14,063	22.3	14,565	22.2	501	103.6%
ヨーグルト製品	6,391	10.2	6,815	10.4	423	106.6%
デザート製品	3,359	5.3	3,272	5.0	△87	97.4%
その他製品	1,418	2.3	1,438	2.2	20	101.4%
合計	62,917	100.0	65,700	100.0	2,782	104.4%

取り組み方針

- 惣菜製品 : 包装惣菜「おばんざい小鉢」の販売拡大、日配惣菜の持続的成長
- 昆布製品 : 次世代商品「ふりふり塩こんぶ」の育成
- 豆製品 : 「豆小鉢」の購買層拡大、蒸し豆のシェアアップ
- ヨーグルト製品 : 「カスピ海ヨーグルト」TVCM放映、「善玉菌のチカラ」再成長
- デザート製品 : 期間限定商品の投入

連結業績予想



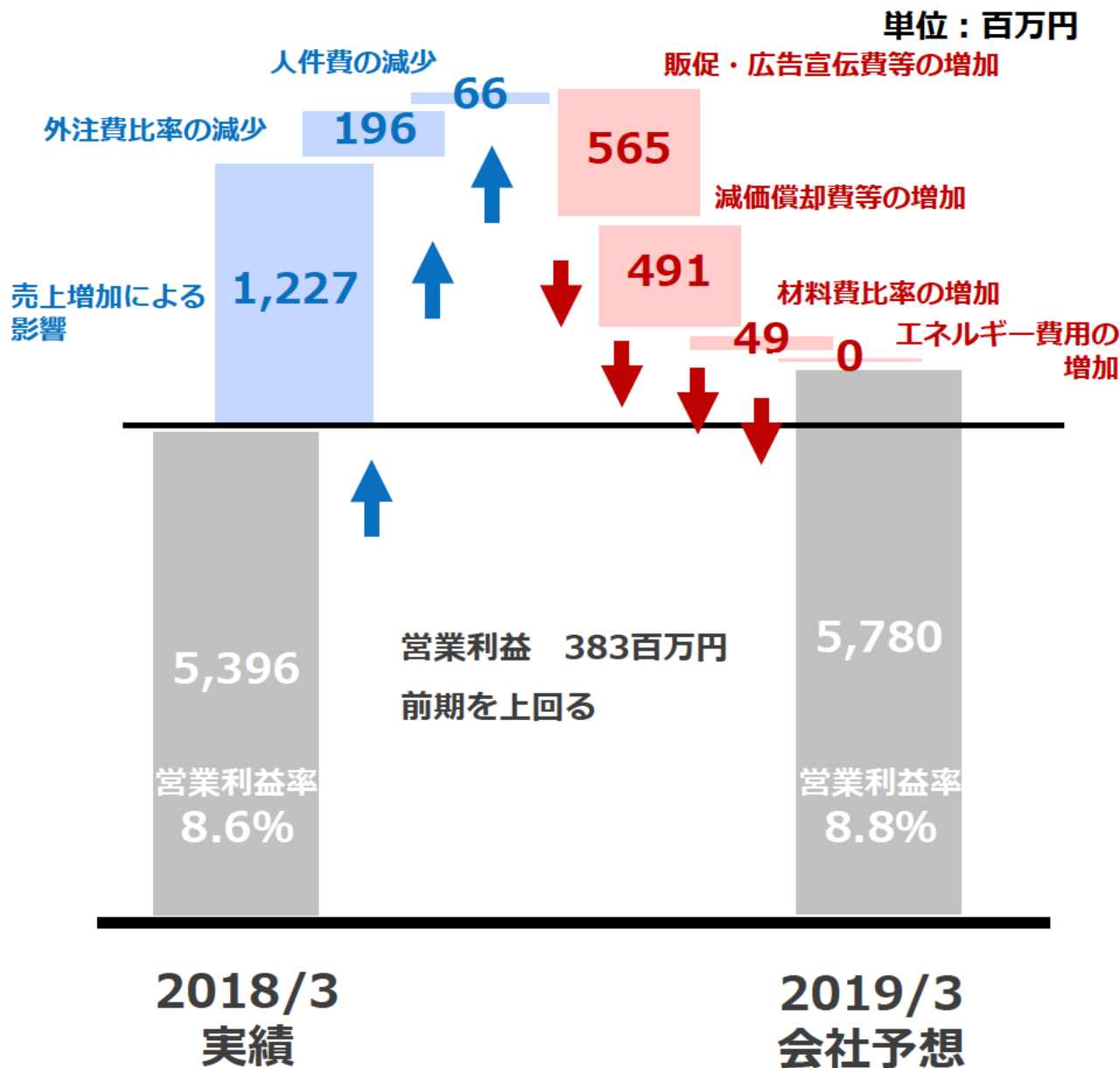
	2018/3期		2019/3期予想		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	62,917	100.0	65,700	100.0	2,782
売上原価	36,927	58.7	38,350	58.4	1,422
売上総利益	25,989	41.3	27,350	41.6	1,360
販売費及び一般管理費	20,592	32.7	21,570	32.8	977
営業利益	5,396	8.6	5,780	8.8	383
営業外損益	331	0.5	300	0.5	△31
経常利益	5,728	9.1	6,080	9.3	351
特別損益	△214	△0.3	—	—	214
税引前利益	5,513	8.8	6,080	9.3	566
当期純利益*	4,023	6.4	4,200	6.4	176
1株当り当期純利益	134円57銭		140円41銭		5円84銭

1株当り配当金	36円** (中間18円)	38円 (中間19円)	2円
---------	---------------	-------------	----

* 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益になります。

** 年間配当金36円のうち、期末配当金18円は予想。

営業利益の増減要因分析（前期比）



【ポイント】

① 予想どおりの増収

② 1人当たり生産性の向上

- ・ 生産性KPIの追求
- ・ FCR-1の推進

③ 販管費率の改善

- ・ 販売経費の総枠管理
- ・ トータル物流費の低減

設備投資額の推移

(百万円)	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3 計画
設備投資額	2,767	2,592	2,278	3,513	7,268	6,400

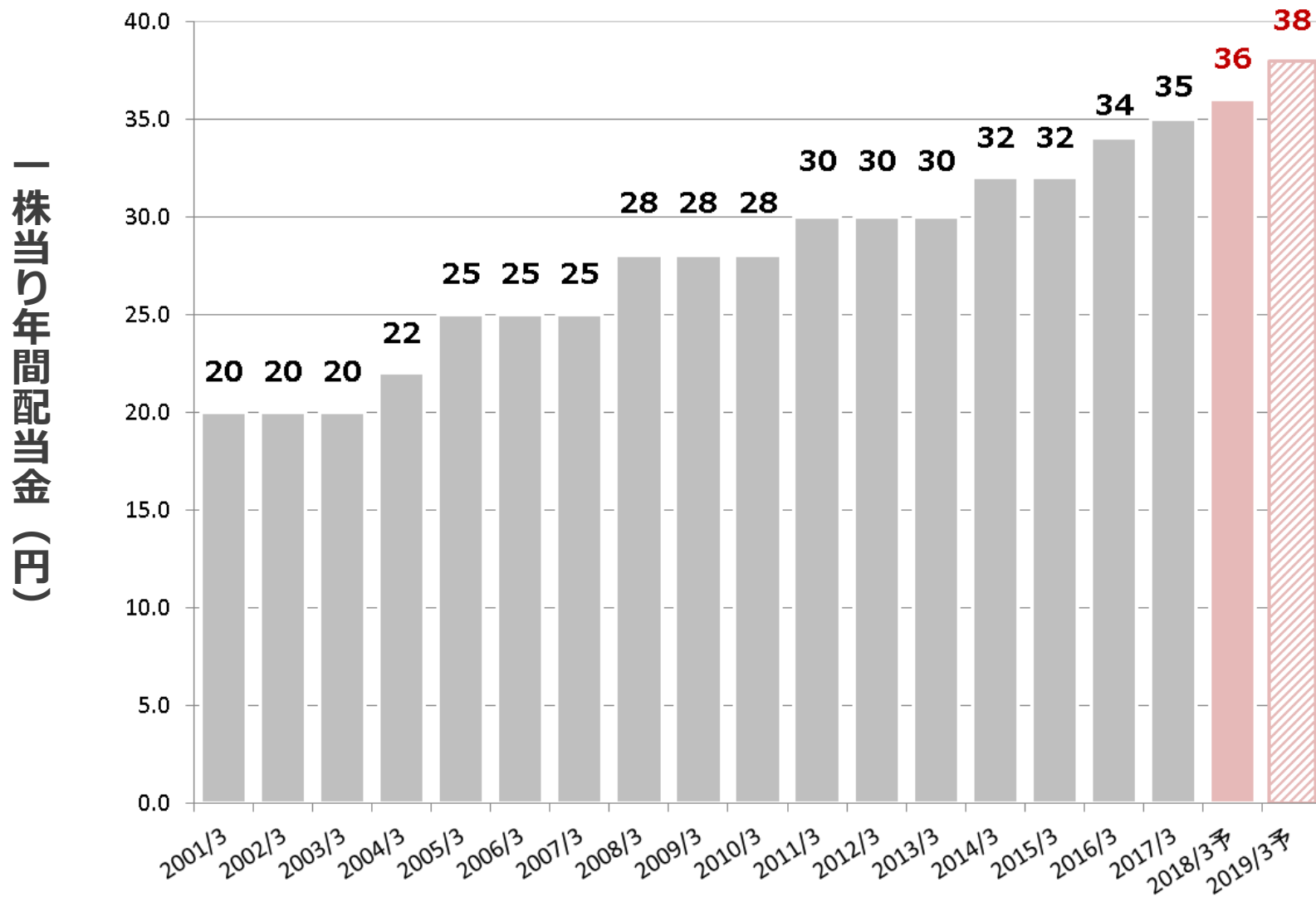
2019/3期 設備投資計画

単位：百万円

投資区分	計画金額
成長投資	3,000
合理化投資	900
更新投資	2,500
合計	6,400



安定配当を継続





この資料には、当社の現在の業績見通しなどが含まれております。それら将来の予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの予想などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

～ お問い合わせ先 ～

経営企画部	尾西まで
TEL	078-303-5921
FAX	078-303-5949